

■基本情報				
取組・プロジェクト名称				
応募者【5名まで】 (最上段に中心的役割かつ実務を担った代表をご記入ください)	メンバー氏名	所属機関	役職(学生は学年)	年齢*
博士号取得情報*1 (氏名・取得年月日・大学をご記入ください)				
問合せ 連絡先	氏名	(ふりがな:)		
	所属機関			
	電話番号	- -		
	E-Mail	@		
	住所	〒		
応募区分	<input type="checkbox"/> 自薦 <input type="checkbox"/> 他薦 (他薦者の所属・氏名)			
■中心的役割を担う組織				
<input type="checkbox"/> 産業界(大企業) <input type="checkbox"/> 産業界(中小企業、ベンチャー企業) <input type="checkbox"/> 公的研究機関 <input type="checkbox"/> 大学・教育機関 <input type="checkbox"/> その他(地方自治体、社団法人、非営利団体、学会等)				
■取組が関連する分野 (二つまで選択可)				
<input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 船舶・海洋 <input type="checkbox"/> 航空・宇宙 <input type="checkbox"/> 電気電子 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 繊維 <input type="checkbox"/> 金属 <input type="checkbox"/> 資源工学 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 上下水道 <input type="checkbox"/> 衛生工学 <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 水産 <input type="checkbox"/> 経営工学 <input type="checkbox"/> 情報工学 <input type="checkbox"/> 応用理学 <input type="checkbox"/> 生物工学 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 原子力・放射線 <input type="checkbox"/> 医歯薬・健康科学 (その他() ※各分野の詳細は応募要項をご参考ください)				
■希望する受賞名*2 第一希望:() 第二希望:() ※数字で記載してください「例:①」				
①科学技術政策担当大臣賞 ②総務大臣賞 ③文部科学大臣賞 ④厚生労働大臣賞 ⑤農林水産大臣賞 ⑥経済産業大臣賞 ⑦国土交通大臣賞 ⑧環境大臣賞 ⑨スポーツ庁長官賞 ⑩日本経済団体連合会会長賞 ⑪日本学術会議会長賞				
■本取組・プロジェクトに係る受賞歴、他賞への応募状況があればご記入ください				

* 1 : 科学技術政策担当大臣賞を希望する場合、年齢(2023年4月1日時点)および応募者に係る博士号取得情報(博士号取得者がいない場合は記入不要)をご記入ください。

また、博士号取得情報欄において、以下に該当することを明記してください。

- ① 2023年4月1日時点で博士号取得後15年以下。
- ② 医学、歯学又は獣医学を履修する場合、博士課程修了後に、法律(医師法、歯科医師法又は獣医師法)に定める臨床研修を修了した者については、2023年4月1日時点で博士号取得後17年以下。
- ③ 博士号取得後から15年以内(②に該当する者は17年以内)に、出産・育児により研究に専念できない期間があった者については、2023年4月1日時点で博士号取得後20年以下(②に該当する者の場合は、博士号取得後22年以下)。
- ④ 博士号取得後から15年以内(②に該当する者は17年以内)に介護等にて研究に専念できない期間があった者については、①の条件に当該期間分(最大2年)を引き上げる。

※応募書類に博士号取得年月・大学を記入し、また、博士号取得が2008年3月以前の場合、その理由を記述してください。③又は④に該当する場合は、母子手帳の写し、要介護認定の証明書写し等を追加で提出してください。必要に応じ確認します。

* 2 : ①~⑪の賞の他、顕著な取組等が認められる個人又は団体に選考委員会特別賞を授与することがあります。また、本特別賞の中で、「大学の知の社会実装に向けて産学官等を繋ぐ人材・組織の取組への表彰」として大学教員等の組織・所属・分野を超えて産学官等を繋ぐという視点から、科学技術・イノベーションの社会実装、社会貢献等において、特に顕著な取組等が認められる個人または団体も表彰します。

【大学と社会を繋ぐ人材や組織の活躍事例】

- ・ 複数大学間の研究者を繋ぎ社会実装に取り組むリサーチアドミニストレータ(URA)の活躍例
産学連携事業を通じ、組織・所属・分野を超えた若手研究者・URAがチームを形成し、組織横断的に基礎研究のテーマ創出からスタートアップ創出までの支援を行うことで、若手研究者のキャリア形成やシーズ育成、外部資金の獲得などに貢献。
- ・ 研究成果を社会実装するための「場」の活用例
研究成果を関連分野以外にも広く社会実装することを目指し、研究者と、産学連携への橋渡し業務に実績のある外部有識者が話し合う場を設定することで、企業との共同研究やベンチャー企業の設立を活性化。

■組織・プロジェクトの概要（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt）

【記入のポイント：】

取組全体、連携の内容、目的、客観的な効果等についてご記入ください。

客観的な効果等について実績が見込みかがわかるようにご記入ください。

（概要図（文字数に含めない）の使用は可）

※A4用紙1枚に収めること

※本テキストボックス（破線部）は確認後、削除してください。

【連携の目的】 社会的ニーズへの貢献について（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。

文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入のポイント】

社会的ニーズや課題の解決等への貢献、将来の社会や産業の在り方に革新を起こす可能性（新型コロナウイルス感染症対策やポストコロナの社会変革など）をご記入ください。

（概要図（文字数に含めない）の使用は可）

（評価のポイント）

- ・ 社会課題やニーズ対応のインパクト・影響の大きさ
- ・ SDGs の課題設定や KPI を参考にした目標の設定
- ・ 政府の掲げる社会課題への対応
- ・ 将来の社会や産業の在り方への革新的インパクト・影響の大きさなど

※A4 用紙 1 枚に収めること

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください

【連携の内容】先導性・独創性について（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。

文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt)

【記入のポイント】

イノベーションを創出するための連携の体制づくり、拠点の構築、プロジェクトの進捗や知財のマネジメント、参画機関・参画者のコミュニケーション等における先導性や独創性をご記入ください。（概要図（文字数に含めない）の使用は可）

（評価のポイント）

- ・従前にはないプレイヤーの巻き込み
- ・互いの良いところを組み合わせ弱いところを補完する体制づくり
- ・適時適切なプロジェクトの進捗管理
- ・早めかつ包括的な知財戦略
- ・参加機関や参加者のモチベーションを維持向上するコミュニケーション手法の導入など

※A4用紙1枚に収めること

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください。

【連携の効果】客観的な効果と持続可能性について（必ず箇条書きで簡潔にご記入ください。

文字数：800字以内、推奨フォント：MSゴシック、推奨サイズ：10.5pt）

【記入のポイント】

連携の取組の効果が上がっているか、効果が上がる見込みがあるか、連携の実施において公的資金に過度に依存していないか、持続的かつ自立的な連携かなどをご記入ください。

（概要図（文字数に含めない）の使用は可）

※必ず何らかの数値指標を所定の欄にご記入ください。（項目数は適宜追加/削減ください。）

実績か見込みかがわかるようにご記入ください。

数値指標の例：取組プロジェクトにおける売上、利益、雇用創出、参加者数、賛同者数、資金調達額、予算規模、取組プロジェクトで実現する効率性、生産性の向上を示す数値、その他取組において設定したKPI 等

（評価のポイント）

- ・ 連携の効果や持続可能性を示す定量的な数値
- ・ プロジェクトの効果と持続可能性を示す定性的な事項など

※A4用紙1枚に収めること

※本テキストボックス(破線部)は確認後、削除してください。

効果等を示す数値指標

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・